

nadia Design
for everyone

SENIOR UI/UX METHOD

BACKGROUND

A photograph of two elderly people, a man and a woman, riding bicycles away from the camera on a dirt path. The path is covered with fallen autumn leaves. The background shows trees with yellow and orange foliage, suggesting a park or a scenic area. The lighting is soft and warm, typical of late afternoon or early morning.

人生100年時代。

もはや遠い未来の話ではなく、目の前の現実となりつつあります。
医学の進歩や生活環境の改善により、80歳から100歳へと大きく伸びています。

もし人生が20年伸びたら、今までの人生設計のまま送り続けるのは、難しいでしょう。

定年後の人生が伸びると、仕事との付き合い方、
家族や友人との向き合い方、今後やりたいこと、様々な変化が生まれます。
では、どうすればよいのか？

片や寿命は伸びているのに、かつてないスピードでデジタル化も進行しています。

人工知能（AI）、モノのインターネット（IoT）、ビッグデータなど、
次々と登場する新技術が、私たちの生活や仕事のあり方を急速に変革しています。

身近なところでは、コロナの影響もあり、
直接人と触れることの少ない、キャッシュレス化が進んだり、
スーパーやコンビニのセルフレジは珍しくなくなりました。

たった数年で変わっていきます。

このような変化の多い時代で、無理なく人生を楽しむためには、
時代に合わせて生き方も変化させることが必要となってきます。

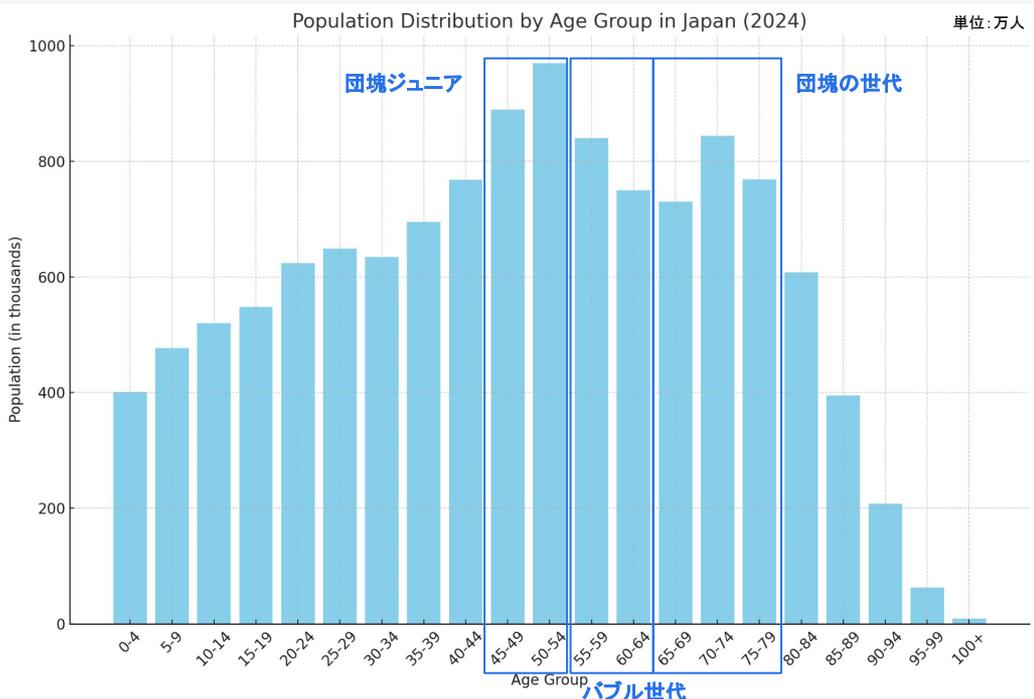
**これからの時代（IT）の変化と、さらには自分の身体の変化とも向き合いながら、
無理なくこれまで以上に、これからの20年を楽しく生きるために、
IT側から人々に寄り添うソリューションを開発して提案したい。**

それが、*nadia* シニアUI/UX（SIXM）プロジェクトに込めた想いです。

現在の人口構成

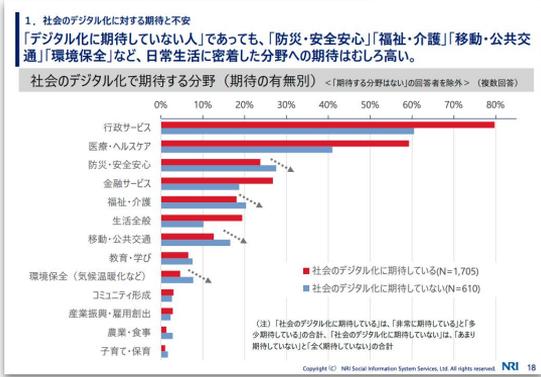
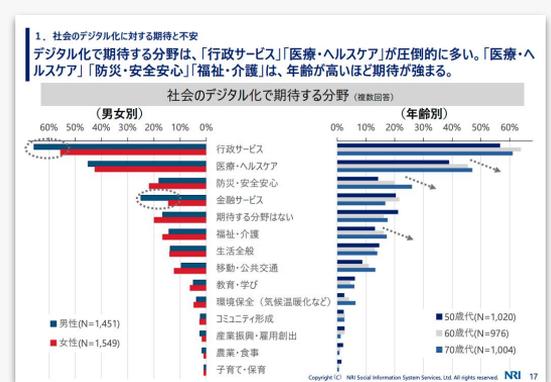
日本の人口ボリュームゾーンは、現在66～79歳（団塊の世代）、現在4～65歳（バブル世代）と、45～59歳（団塊ジュニア）となっており、今後、この世代がこの先の20年、自身の身体機能の低下とともに、ITの変化と向き合う第一世代であると言える。

また、実際にその世代がデジタルに期待する分野として**日常生活に密着した分野への期待が高い**ことがわかっている。



総人口: 123,930,000人
男性: 60,290,000人
女性: 63,640,000人

人口推計(総務省統計局)
令和6年5月20日 発表資料より



シニア世代 × デジタルの現在

デジタルの必要性として日常生活での活用はもちろん、シニア世代の中でもアクティブシニアにおいては、生活の利便性だけでなく、デジタルによって、より行動的に生き生きと仕事や趣味を謳歌するという傾向があり、その割合が2020年時点で、シニア世代の全体の1/4程、**2030年にはシニア世代の約8割になる**という予測データもある。

オンラインゲーム



オンラインショッピング



バーチャル体験



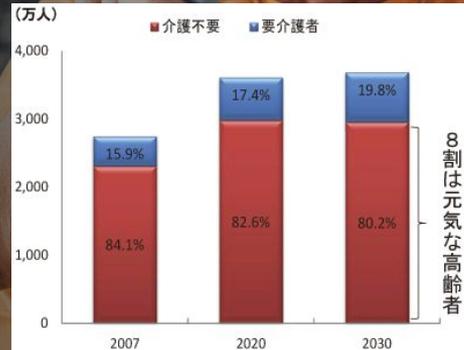
テレビ電話



インターネットサーチ



オンライン診療



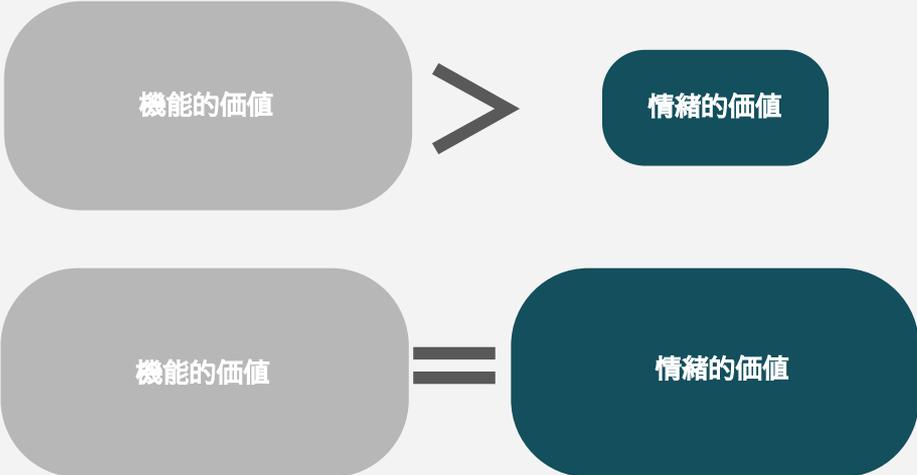
2030年には
アクティブシニアの割合
シニア世代 全体の
80%
になるという予測データも

(出典) 総務省「ICT超高齢社会構想会識報告書」(みずほコーポレート銀行産業調査部「みずほ産業調査vol.39 日本産業の中期展望」(平成24年5月)より)

シニア用デバイス・UI/UXの現実

一方で、シニアが利用するためのデバイスや機器は、わかりやすさを追求するがあまり、いくつかの機能を排除したり、UIのデザインを大味（おおあじ）な表現でまとめてしまい、**実際に使用したいと思えるデザイン** でなかったり、**使用したい機能** までもアテンションさせづらくなってしまっている。

しかし、アクティブシニアが増加傾向にある今後は、**機能的価値だけではなく、情緒的価値も同じように追求すべき** であると言える。



機能性能

-シニア向けデバイス-

- ・日常使用として必要最低限のデザイン
- ・ツールとして最低限の機能

**感覚的な価値
精神的な価値**

-シニア向けデバイス-

- ・かっこいい/素敵/スタイリッシュ
- ・使うことで選択肢や拡張性が広がる



シニアが使うスマートフォン（イメージ）



病院の予約画面（イメージ）



レジのタッチパネル（イメージ）



公共のタッチパネル（イメージ）



機能的価値

年齢に関係なく、いつまでも新しいことに
チャレンジできる世界を作り出す。

加齢による変化に左右されず、やりたいことが叶えられるUI/UX。
使いこなせず諦めるなんて、もったいない。

シニアUI/UX (SIXM) を利用すれば迷わず進める、簡単に操作できる。
脳や身体にやさしい色や形だから、長時間の使用も苦にならない。
使いながら理解を深めていける、すべての人にもやさしいUI/UX。

情緒的価値

シニアUI/UX (SIXM) が適用されたサイト / 未適用サイトについて、アンケートを実施

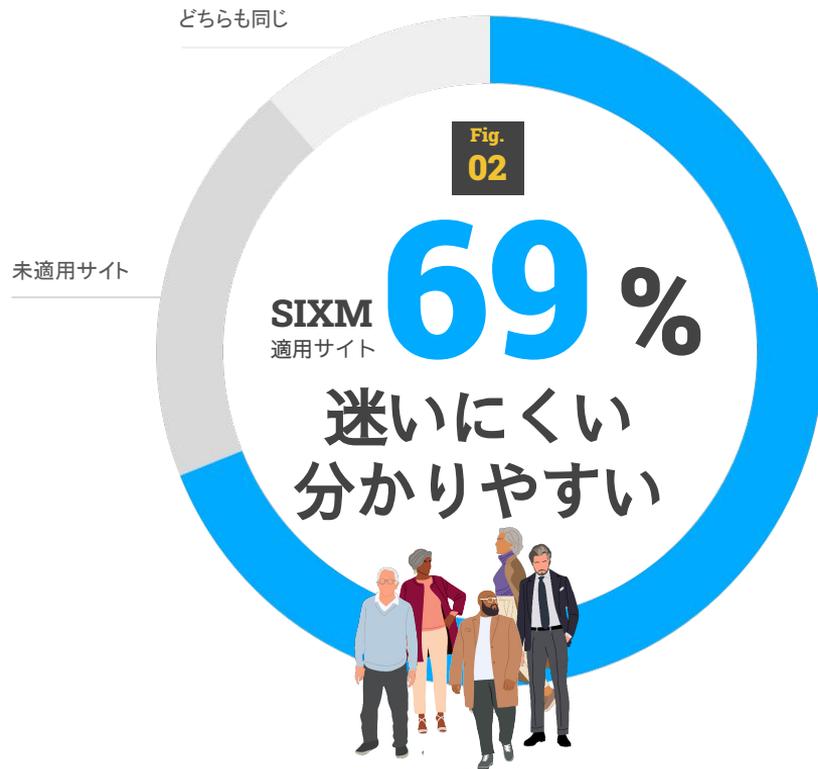
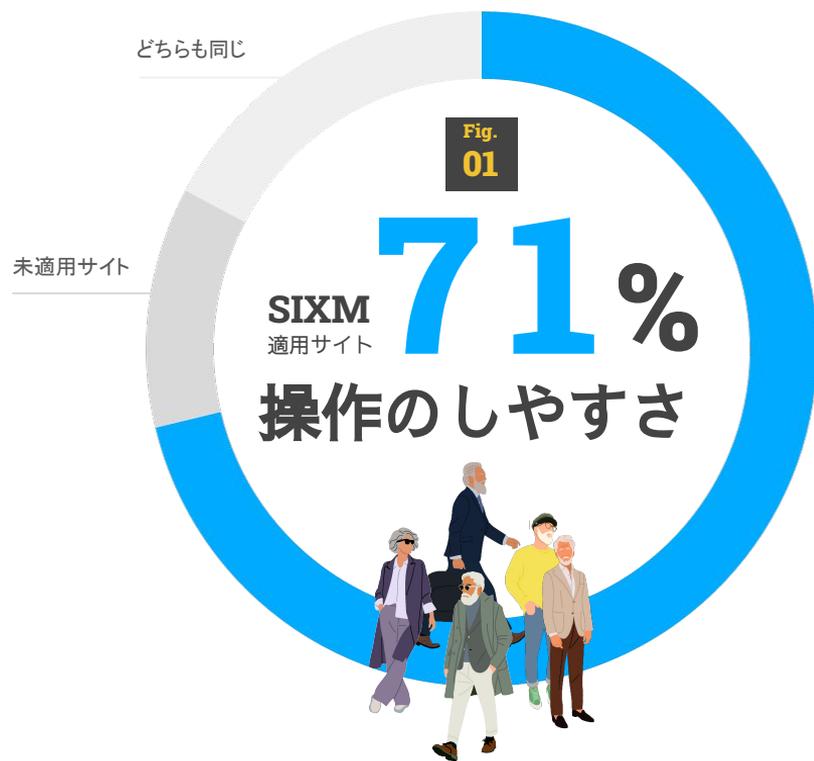
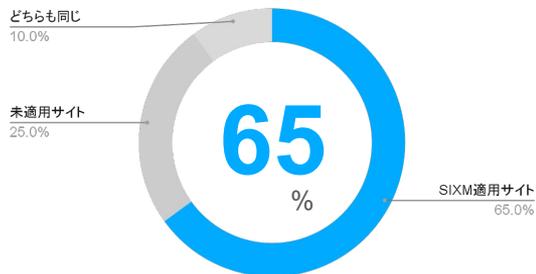
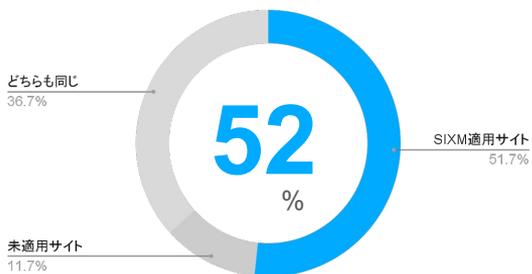


Fig.01 「操作のしやすさ」に関するアンケート結果 詳細

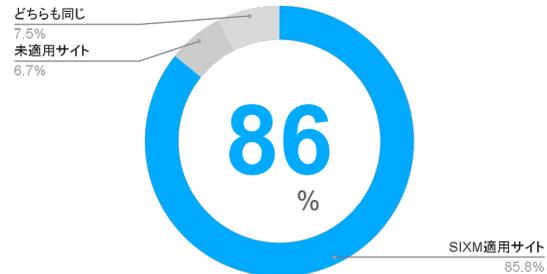
【商品を探す場面】画面を操作しやすいのは、どちらのサイトですか？



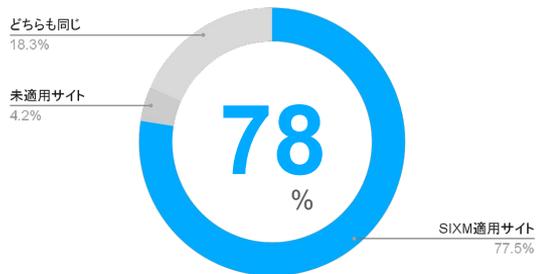
【商品を探す場面】メニューを開いたあと、閉じやすいのは、どちらのサイトですか？



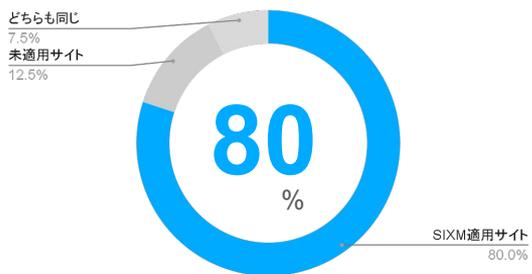
【カート内で色を変更する】画面を操作しやすいのは、どちらのサイトですか？



【カート内で色を変更する】カラーを変更しやすかったのは、どちらのサイトですか？



【お支払い方法と配送先を指定する】画面を操作しやすいのは、どちらのサイトですか？



【会員登録する】画面を操作しやすいのは、どちらのサイトですか？

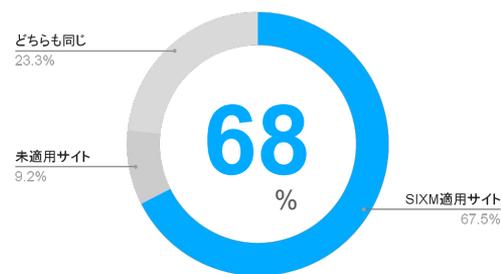
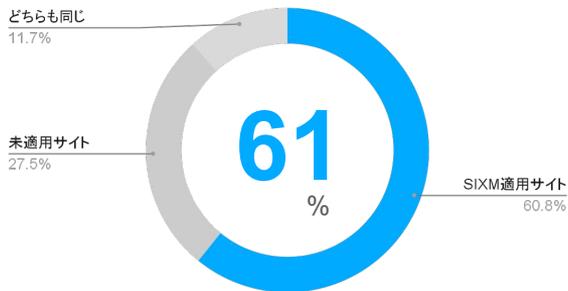
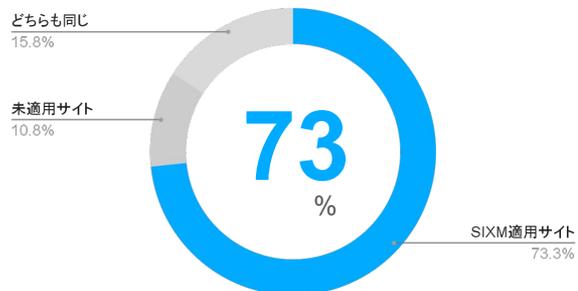


Fig.02 「迷いにくい、分かりやすい」に関するアンケート結果 詳細

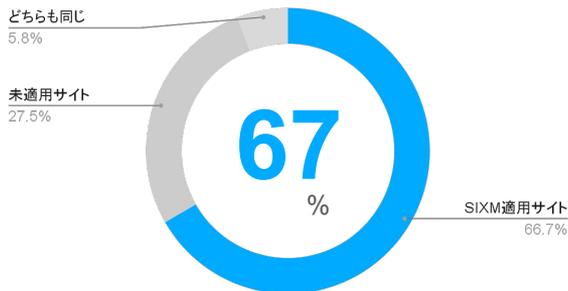
【商品を探す場面】画面を操作する上で、ボタンや、サイト内にあるマークがわかりやすいのは、どちらのサイトですか？



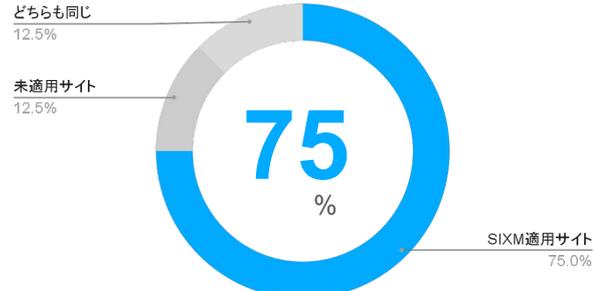
【カート内で色を変更する】カート内に商品が入ったことがわかりやすいのは、どちらのサイトですか？



【カート内で色を変更する】商品のカラーを選択する際、迷いがなかったのは、どちらのサイトですか？



【お支払い方法と配送先を指定する】配送先、配送方法、支払い方法などの入力工程を理解しやすかったのは、どちらのサイトですか？



1. 既存サイトの改修



すでに運用されている既存のサイトに対して、シニア向けの UI/UXソリューションを組み込んで、WEBサイトを改修することができます。

2. 新規顧客層獲得のための新サイト設立



新しくシニア向けのサービスを始める時などに、顧客、ターゲット分析等も交えながら、WEBサイトの新規立ち上げを行うことができます。

3. 調査



シニア対応を強化したいが、「どのように UI改善に取り組めば良いかわからない」といった悩みに対して、現在の WEBサイトの UI/UXを詳細に分析して改善点を抽出します。

USE CASE

ユースケース



CLIENT

大手ファッションECサイト

制作内容

1. 既存サイトの改修

制作期間

4~12ヶ月

課題

シニア層の購入を増やし、
カート離脱を防止する施策を
行いたい

CLIENT

外食チェーン店舗運営

制作内容

2. 新サイト設立

制作期間

6~18ヶ月

課題

オンライン予約/デリバリーサー
ビスのUI/UXを最適化。
実店舗では、シニアが迷わずに
オーダーできる注文端末のUI/UX
を提供したい

CLIENT

医療オンライン診断

制作内容

3. 調査

制作期間

2~6ヶ月

課題

シニアからの操作や利用の電話
問い合わせが多いので、UIを改
善してフォームからの連絡に切
り替えたい



Thank you

nadia Design
for everyone